

3 病院事業の業務状況

(1) 事業の概要

滋賀県病院事業では、高度専門医療を提供し、県民の健康増進と保健福祉の向上を図るため、次の3病院を運営しています。（平成30年1月1日より成人病センターは総合病院へ名称変更しています。）

病 院 名	診 療 開 始	診 療 科	病 床 数	建物延面積
総 合 病 院	昭和 51 年 4 月	30 科	535 床	90,746.27 ㎡
小児保健医療センター	昭和 63 年 4 月	9 科	100 床	9,444.42 ㎡
精 神 医 療 セ ン タ ー	平成 4 年 9 月	4 科	123 床	10,675.87 ㎡

○患者の利用状況

平成30年度における県立3病院の利用実績（患者延数）は、入院が218,906人、外来が274,515人で、前年度に比べて、入院は7,250人の増加、外来は9,803人の減少となりました。

なお、各病院の近年の利用状況は、次のとおりです。

●患者数

（単位 人）

区 分		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		
		上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	
総 合 病 院	入 院	患者延数	71,617	74,355	76,206	75,678	78,907	80,167
		1日平均	391.3	408.5	416.4	415.8	431.2	440.5
	外 来	患者延数	110,505	107,226	106,729	103,580	99,858	101,683
		1日平均	898.4	893.6	860.7	863.2	805.3	847.4
小 児 保 健 医 療 セ ン タ ー	入 院	患者延数	13,315	13,414	12,605	11,552	12,032	12,479
		1日平均	72.8	73.7	68.9	63.5	65.7	68.6
	外 来	患者延数	22,954	22,823	23,294	23,245	23,462	23,690
		1日平均	186.6	190.2	187.9	193.7	189.2	197.4
精 神 医 療 セ ン タ ー	入 院	患者延数	16,597	17,390	17,275	18,340	17,662	17,659
		1日平均	90.7	95.5	94.4	100.8	96.5	97.0
	外 来	患者延数	12,200	12,537	13,547	13,923	13,618	12,204
		1日平均	99.2	104.5	109.3	116.0	109.8	101.7
合 計	入 院	患者延数	101,529	105,159	106,086	105,570	108,601	110,305
		1日平均	554.8	577.8	579.7	580.1	593.4	606.1
	外 来	患者延数	145,659	142,586	143,570	140,748	136,938	137,577
		1日平均	1,184.2	1,188.2	1,157.8	1,172.9	1,104.3	1,146.5

○建設改良の状況

総合病院では、東館の解体にかかる調査・設計等を実施しました。また、医療の高度化に対応するため、県立3病院で引き続き医療機器の整備等を行いました。

② 経理の状況

○予算の補正の状況

平成31年2月定例会議において、入院収益の減少等により事業収益を129,582千円減額補正し、給与費の増加等により事業費用を258,404千円増額補正しました。また、資本的収入を20,686千円、資本的支出を55,684千円それぞれ減額補正しました。

○平成30年度予算の執行状況

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの予算の執行状況は次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
病院事業収益	22,829,400	—	△ 129,582	22,699,818	22,557,091	99.4
医業収益	19,318,788	—	△ 121,545	19,197,243	18,904,203	98.5
医業外収益	3,273,912	—	18,534	3,292,446	3,293,693	100.0
附帯事業収益	236,700	—	△ 26,571	210,129	210,103	100.0
特別利益	—	—	—	—	149,092	皆増
病院事業費用	23,351,900	—	△ 41,291	23,310,609	23,024,110	98.8
医業費用	22,432,129	—	△ 13,108	22,419,021	22,144,787	98.8
医業外費用	683,071	—	△ 1,612	681,459	672,278	98.7
附帯事業費用	236,700	—	△ 26,571	210,129	207,045	98.5

●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
資本的収入	536,600	—	△ 20,686	515,914	508,523	98.6
企業債	501,400	—	△ 17,200	484,200	477,100	98.5
負担金	29,200	—	△ 7,070	22,130	22,130	100.0
諸収入	6,000	—	3,584	9,584	9,293	97.0
資本的支出	2,316,900	—	△ 55,684	2,261,216	2,252,717	99.6
建設改良費	565,580	—	△ 27,676	537,904	529,407	98.4
企業債償還金	1,751,320	—	△ 28,008	1,723,312	1,723,310	100.0

(注) 1 補正予算額は、平成30年11月定例会議および平成31年2月定例会議における補正予算額の合計額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○企業債の状況

平成31年3月31日現在の企業債の現在高は、24,498,591千円です。

○決算の状況

①損益収支

事業収益は、入院患者数の増加による医業収益の増加、過年度収益の修正（保留レセプトの収益計上

等)による特別利益の計上等により対前年度比 3.8%増加の 22,515,386 千円となりました。一方、事業費用は、特別損失の減少等により対前年度比 0.8%減少の 22,983,034 千円となりました。この結果、当年度純損失は、前年度より 1,014,668 千円減少し、467,648 千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	平成 30 年度(A)	平成 29 年度(B)	比 較 増 減	
			(A)－(B)	(A)/(B) %
事 業 収 益	22,515,386	21,691,406	823,980	103.8
医 業 収 益	18,878,575	18,349,193	529,382	102.9
医 業 外 収 益	3,277,677	3,074,274	203,403	106.6
附 帯 事 業 収 益	210,042	258,097	△ 48,055	81.4
特 別 利 益	149,092	9,842	139,250	1514.9
事 業 費 用	22,983,034	23,173,722	△ 190,688	99.2
医 業 費 用	21,692,550	21,183,228	509,322	102.4
医 業 外 費 用	1,083,474	1,028,978	54,496	105.3
附 帯 事 業 費 用	207,010	254,585	△ 47,575	81.3
特 別 損 失	—	706,931	△ 706,931	皆減
当年度純利益(△は損失)	△ 467,648	△ 1,482,316	1,014,668	31.5

②財務状況

平成 30 年度末の総資産は、建物の減価償却に伴う固定資産の減少等により前年度より 1,915,544 千円 (4.6%) 減少して 40,014,023 千円となり、負債は固定負債の減少等により 1,447,896 千円 (4.1%) 減少して 34,092,676 千円となりました。また、資本は 467,648 千円 (7.3%) 減少し 5,921,347 千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	平成 30 年度	平成 29 年度	比較増減	科 目	平成 30 年度	平成 29 年度	比較増減
固定資産	31,712,874	33,519,156	△1,806,282	固定負債	26,692,256	27,755,906	△ 1,063,650
流動資産	8,301,149	8,410,411	△ 109,262	流動負債	4,866,759	5,083,806	△ 217,047
				繰延収益	2,533,661	2,700,860	△ 167,199
				負債合計	34,092,676	35,540,572	△ 1,447,896
				資本金	16,415,091	16,415,091	—
				剰余金	△10,493,744	△10,026,096	△ 467,648
				資本合計	5,921,347	6,388,995	△ 467,648
合 計	40,014,023	41,929,567	△1,915,544	合 計	40,014,023	41,929,567	△ 1,915,544

(3) 令和元年度の事業および予算の概要

県立病院では、平成 18 年度に地方公営企業法を全部適用し、病院事業管理者として病院事業庁長を設置し、平成 24 年 3 月に策定し、平成 27 年 3 月に中間見直しを行った「第三次滋賀県立病院中期計画」に

基づき経営改善を進めてきましたが、平均在院日数の短縮に伴う入院収益の減等から、依然として厳しい経営状況となっています。こうした中で、平成29年3月に策定した「第四次滋賀県立病院中期計画」に掲げる目標の達成に向けた取り組みを着実に実施し、経営改善を進め、安定的な経営基盤を構築するとともに、質の高い医療サービスを提供していきます。

総合病院では、新病棟開設などで高めてきた病院機能をさらに強化し、都道府県がん診療連携拠点病院として、安全で質の高い医療の提供に努めるために、医療人材の確保と医療機器の設備更新を計画的に進めます。また、他病院等との連携を一層強化することにより入院患者数の増加を図るなど、収支改善の取組を進め、同時にチーム医療の推進等により、より効果的、効率的な病院運営に努め、経常収支の黒字化を目指してまいります。

小児保健医療センターでは、嚥下治療の拡充やリハビリ入院プログラムの拡充強化など、県民ニーズの変化に対応した医療分野の充実を図るとともに、現在および将来の小児医療を取り巻く状況に対応できるよう、平成30年3月策定の基本計画を踏まえ、関係部局との連携を図りながら、小児保健医療センターの再整備を実現するための新たな施設の基本設計を行います。

精神医療センターでは、精神医療の拠点病院として、アルコール依存症等中毒性精神障害や思春期精神障害などの専門医療の充実、行政や関係機関・施設等との連携強化を図ります。また、医療観察法病棟について、近畿厚生局と適切な調整を図りながら対象者の受け入れを行うとともに、開かれた病院運営に努めつつ、引き続き適切な医療の提供を行います。

○令和元年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳			
			総合病院	小児保健医療センター	精神医療センター	経営管理課
病院事業収益		23,543,400	17,924,800	3,413,700	2,115,700	89,200
	医業収益	20,119,135	15,845,991	2,757,580	1,428,742	86,822
	医業外収益	3,212,165	2,078,809	444,020	686,958	2,378
	附帯事業収益	212,100	—	212,100	—	—
病院事業費用		23,563,300	17,912,700	3,446,200	2,115,200	89,200
	医業費用	22,656,323	17,326,243	3,160,600	2,080,280	89,200
	医業外費用	694,877	586,457	73,500	34,920	—
	附帯事業費用	212,100	—	212,100	—	—

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳			
			総合病院	小児保健医療センター	精神医療センター	経営管理課
資本的収入		1,941,800	1,827,200	99,000	15,600	—
	企業債	1,917,300	1,807,400	95,100	14,800	—
	負担金	24,500	19,800	3,900	800	—
資本的支出		3,818,200	3,269,300	338,400	210,500	—
	建設改良費	2,089,469	1,859,793	213,216	16,460	—
	企業債償還金	1,728,731	1,409,507	125,184	194,040	—

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金で補填します。